

止まらぬ国民の怒り たたかいはこれから

『増税されたら暮らせない』 密室談合で消費税を強行した民・自・公への怒りが広がっています。社会保障を守るといいながら、市民にとっては、介護保険料の値上げ、ヘルパー派遣時間の短縮に続き、子どもの髄膜炎や子宮頸がん予防ワクチン接種の自己負担導入など、医療・福祉後退の連続です。増税の来べき総選挙と、来年必ずある参院選では、増税勢力に厳しい審判を下すとともに、どの党が伸びれば消費税を食い止め、社会保障を守れるのかが争点となるでしょう。

日本共産党は、一般質問や委員会審査、意見書提案で、市民の願いを届け、一歩でも二歩でも前進させるため力をつくします。議会での傍聴や、インターネット中継の視聴をお願いします。ご意見を、どんどんお寄せください。

会期 9月6日～10月9日 34日間
(議案22件、発議9件他)

- 9月 6日(木) 本会議 午後1時開議
 - 11日(火)～13日(木) 一般質問 午前10時～
 - 14日(金) 一般質問 午前10時～
 - 18日(火) 総務委員会
 - 19日(水) 教育福祉委員会
 - 20日(木) 市民経済委員会
 - 21日(金) 都市建設委員会
 - 25日、26日、27日、10月1日 決算審査特別委員会 小田桐たかし議員担当
 - 10月 9日(火) 本会議 午後1時開議
- 議案・請願・陳情・意見書など採択

一般質問

徳増きよ子議員 9月12日(水) 午前11時頃

- 生活保護行政について
生活保護行政を憲法や生活保護法に基づいて実施しているのかを問う。
 - 保護申請の意思がある人の申請を受け付けているのか。他
 - 特別支援教育について
特別支援教育体制の遅れは顕著である。抜本的な拡充について問う。
 - 支援を必要とする子どもが一人でもいる学校に学級を設置すべきではないか。他
 - 地域防災について
狭い道路でも初期消火に威力を発揮する軽消防車や消防バイクの導入について再度問う。他
 - 東部地域のまちづくりについて
- 植田和子議員 9月12日(水) 午後1時頃
- 教育行政について

- 子どもの貧困といじめ、不登校などについて問う。
- 生活困窮家庭の増大、子どもの貧困の実態をどう認識しているか。
 - 対策の基本は「子どもの人権」を尊重することではないか。
 - 子どもの貧困が「いじめ」の要因の一つになり得ると思うかどうか。他
 - フランチャイズ産業について
市内産業振興政策のなかに、フランチャイズ産業問題を位置づけるべきではないか。他
 - 建設産業の地域社会での役割について
建設産業の地域貢献の実態について問う。
 - 住宅リフォーム助成制度の意義について問う。

いぬい紳一郎議員 9月12日(水) 午後2時頃

- 国民の過半数が反対する中で、消費税増税法が可決・強行されたことについて市長の見解を問う。
- 福祉施策について
難聴対策として、磁気ループを、市役所窓口、公民館などに設置すべきではないか。
- 放射能問題について
「除染実施計画」はどこまで実施されたか。ホールボディカウンタ検査など、子どもたちの健康調査の実施について
- 地域防災計画について
計画修正に際して、市民の声や専門家の英知をどのように結集し、反映してきたのか。
減災目標を達成するための長期的な行動計画をどのように打ち立てていくのか。他

小田桐たかし議員 9月12日(水) 午後3時頃

- 初石駅東口の開設について問う。
- 流山市市民参加条例の具体化等について
平成24年6月定例会で修正可決した本条例について市長の基本的な見解を問う。他
- 放射能対策について
森のまちエコセンターの剪定枝等と焼却灰の現状について問う。他
- 市長の政治姿勢について
TX沿線開発の現状について見解を問う。
市長就任後10年間、市内4地区各事業に対する取り組みについて、市長の総括を問う。
今後の見通しとともに、わが党は巨額の市税投入と事業破たんへの恐れを指摘し、計画の根本的見直しを求め続けてきたが、その見解を問う。

ぜひ傍聴にお出かけください

- 市議会議員 いぬい紳一郎 (7159-2773)
- 市議会議員 小田桐たかし (7154-0878)
- 市議会議員 徳増きよ子 (7148-6871)
- 市議会議員 植田和子 (7154-0288)

